

河合早苗プロデューサーご自身が製作映画の解説をする映画鑑賞ツアー！！

上越登録有形文化財の映画館で観る！

上越 高田世界館 映画鑑賞と老舗料亭 長養館を訪ねて！

各訪問先で  
解説が楽しめるのは、  
このツアーならではの

この度、登録有形文化財「高田世界館」にて茂木綾子監督作品「フィシスの波文」映画を観賞し、新潟ゆかりの河合早苗プロデューサーより解説していただく特別ツアーを企画しました。創業400年の唐長唐紙をドキュメンタリーで描いた映画をこの機会にご覧ください。ご昼食は高田の料亭「長養館」にて映画に登場する唐紙解説と老舗の味をお楽しみいただき、また、小林古径記念美術館、岩の原葡萄園もご覧いただけます。ぜひ、この機会に高田世界館、上越を訪ねてみてはいかがでしょうか。



『フィシスの波文』ポスター



高田世界館 劇場内



長養館 お料理  
※季節によって内容が変わります

■出発日  
2024年 10月25日(金)

■旅行代金  
大人お一人様 18,900円

■募集人員  
34名様(最少催行人員30名様)  
※定員になり次第締切りとなります。

- 食事条件 昼食1回
- 添乗員 同行します
- 利用バス会社 越王観光バス
- 日程表(予定)



小林古径記念美術館



岩の原葡萄園 ショップ店内

<b>10/25</b> (金)	<b>新潟駅南口</b> → <b>新潟西IC</b> → <北陸道> → <b>米山SA(休憩)</b> → <b>上越IC</b> 8:00発 9:00~9:15
	→ <b>高田世界館</b> 1911年創設 開館113年日本最古級の映画館にて、茂木綾子監督作品「フィシスの波文」を鑑賞。河合早苗プロデューサーより映画の解説をいただきます。 10:00 ~ 12:00
	→ <b>長養館</b> 創業120年余りの越後高田の迎賓館にて、ご昼食は季節のお料理「おふく膳」を堪能。また、ご主人より館内の唐長唐紙、数寄屋建築のご解説をいただきます。大杉屋惣兵衛 1592年(文祿元年)創業老舗菓子店の、映画にちなんだ文様をかたどったお菓子をお土産にお持ち帰りください。 12:10 ~ 14:00
	→ <b>小林古径記念美術館(解説と見学)</b> → <b>岩野原葡萄園(蔵見学・ワイン試飲・買物)</b> 14:10 ~ 14:40 15:00 ~ 16:00
	→ <b>柿崎IC</b> → <北陸道> → <b>米山SA(休憩)</b> → <北陸道> <b>新潟西IC</b> → <b>新潟駅南口</b> 16:45~17:00 18:00頃到着

●上記スケジュールは予定時刻です道路状況、天候状況等により変更となる場合があります。  
 ●ご出発の10日前よりキャンセル料が掛かります。お申込時にお渡しする「旅行条件書」をご確認ください。

イベント企画 **新潟日報カルチャースクール**

〒950-8535 新潟県新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ7F

旅行企画実施お申込先 **新潟日報グループ** 観光庁長官登録旅行業第2136号 日本旅行業協会正会員  
**(株)メディアシップ・ブランド旅行センター**

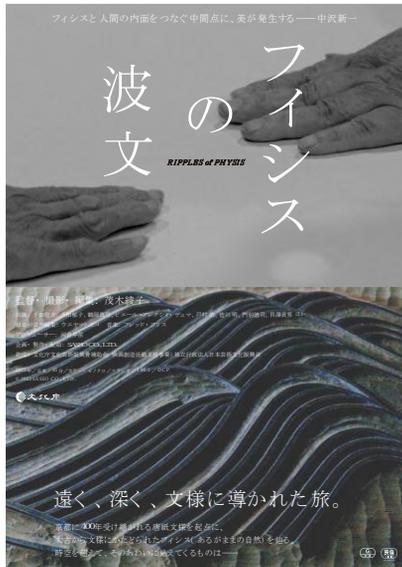
**025-385-7692**

月~金曜日 10:00~12:00/13:00~17:00 (土・日・祝日休)

WEBからも  
受付中!



https://www.mediaship-brand.jp/travel/



# 『フィシスの波文』 Story

太古から現代に至るまで、人は文様を描いてきた。文様の界は人類の遠い記憶を呼び起こす。

『フィシス』は古代ギリシャ語で自然の意味。日本の自然観、自然（じねん）と重なる。動植物や天象など、文様にかたどられたフィシスのイメージは、伝播し交差しながら今に息づいている。

京都「唐長」に400年受け継がれてきた唐紙文様を起点に、京都の葵祭や祇園祭、1万年前のイタリアの岩絵、古代ローマのモザイク、アイヌ文様、現代アーティストの表現へと、文様に導かれ辿った旅のドキュメンタリー。



## 河合早苗プロデューサー プロフィール

宮浦中学校、新潟高校を卒業後、武蔵野美術大学短期大学部工芸デザイン科卒業 1986年 イタリアに渡り Michele De Lucchi 建築設計事務所（ミラノ）に4年間勤務。1991年京都に STUDIO SANAE KAWAI 設立（プロダクトデザイン、店舗・住宅設計） 1994年より神戸市で活動。2019年に映像製作会社 株式会社SASSOを設立。「文様」をテーマにしたドキュメンタリー映画「フィシスの波文」を企画・製作・プロデュース。今年4月より日本各地で上映の他、6月に天皇皇后両陛下がイギリス訪問時に視察されたジャパン・ハウス ロンドンで 7月2日上映。10月にはジャパン・ハウス ロサンゼルスで上映予定。



**Special Point 1**  
日本最古級の映画館『高田世界館』にて、世界各地の「文様」を古代から現代までを追った『フィシスの波文』をご鑑賞ください。  
鑑賞後、河合早苗プロデューサーより映画のご解説、また113年の歴史ある映写室をご見学いただけます。

—高田世界館— 1911年（明治44年）に芝居小屋「高田座」として開業。『日本最古級』の映画館。明治期の洋館の佇まいを今に残しており、経済産業省の近代化産業遺産、国の登録有形文化財に登録された建物である。



**Special Point 2**  
ご昼食は越後高田の迎賓館『長養館』にて、季節のお料理をお召し上がりいただけます。  
映画ご鑑賞後、長養館ご主人より全館の唐長唐紙、数寄屋建築のご解説をいただける国内唯一の貴重な機会です。創業文祿元年、大杉屋惚兵衛の、映画にちなんだ文様の和菓子付きです！

—長養館— 寺町で1892年総業の『越後高田の迎賓館』と呼ばれている老舗料亭。全室より日本庭園を望め、ゆったりとした時間の中で食事を楽しめる。映画に登場する8柄の唐紙のうち、6柄の襖が長養館に仕込まれている。今回は特別に、全ての部屋を解説つきで見学。

—小林古径記念美術館— 紅葉が美しい高田城址公園内にある。上越市出身の小林古径は、大正11年に日本美術院留学生として1年にわたってヨーロッパに滞在し、西洋美術を研究した。帰国後、東洋絵画の命である線描の技術を高めた日本を代表する画家。東京より移築復原した小林古径邸（国の登録有形文化財）と、再現された古径の画室を見学できる。

—岩野原葡萄園— 日本ワインぶどうの父と呼ばれる創業者の川上善兵衛は、海外の文化を取り入れ、地域の発展のために豪雪の地で葡萄の品種改良を続け、日本ワインの発展にその生涯をささげた。園内のショップではワインの試飲を楽しむ。